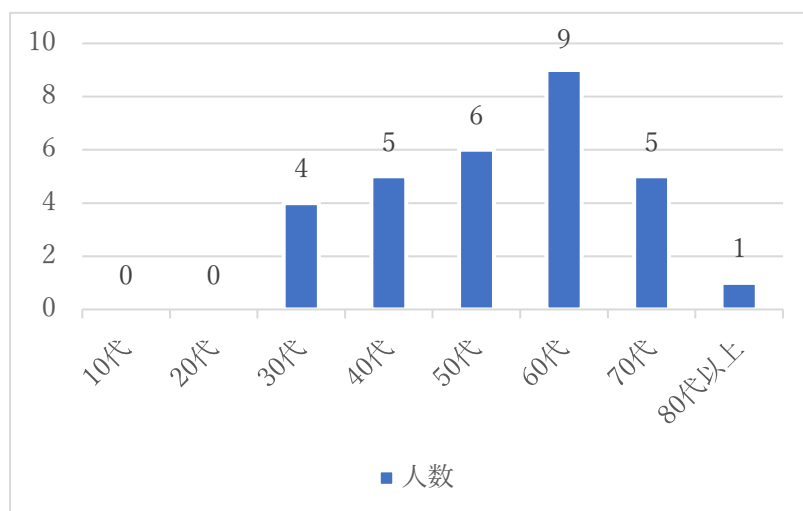
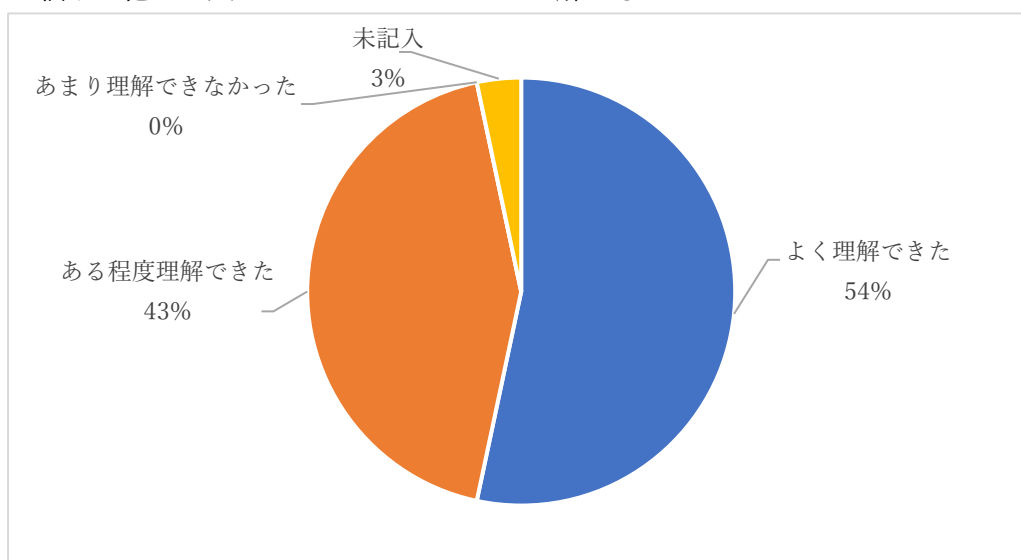


令和6年度市民向けゲートキーパー入門講座アンケート結果

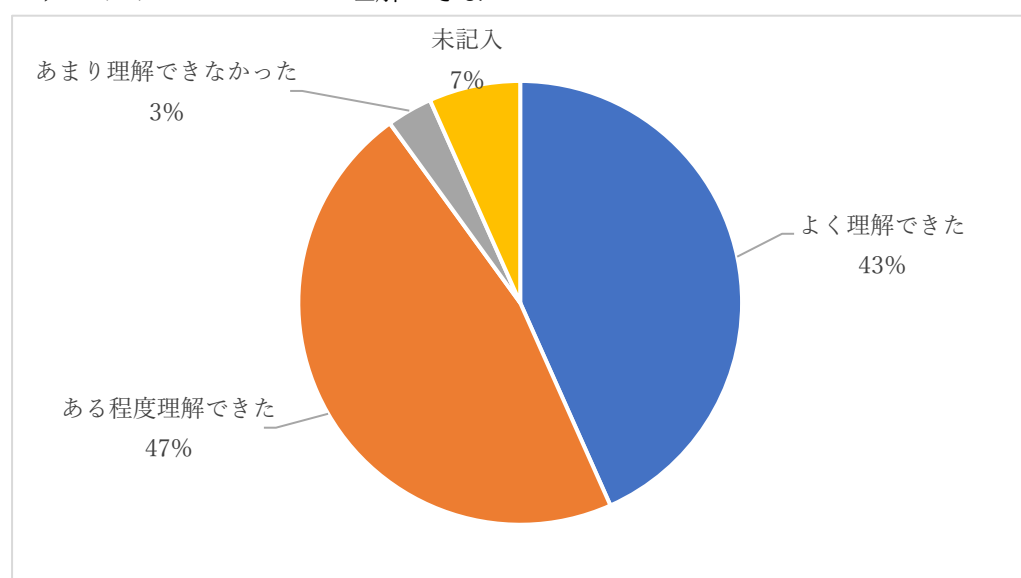
Q1 年代



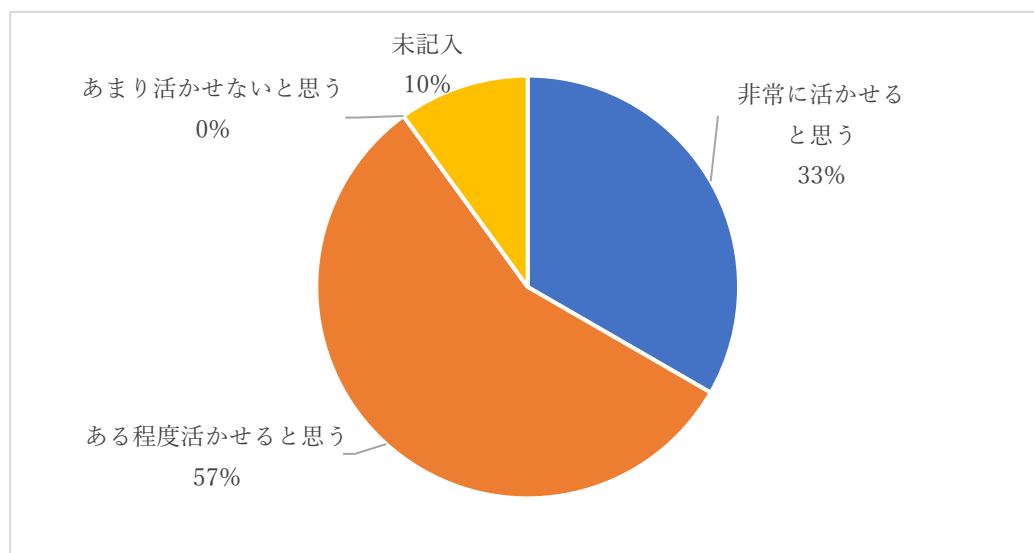
Q2 悩みを抱える人の SOS サインについて理解できましたか



Q3 ゲートキーパーについて理解できましたか



Q4 本日の学びを今後に活かせると思いますか



Q5 感想・意見

分類		内容
講座を通じた学び・気づき	人とのつながりについて	とても勉強になった。地域や家庭での関係づくりが大事だが、時代が時代だけに難しい世の中だが、参考になった。
		根気よく対応していくこと、人と人のつながりで安心させることの大切さ学んだ。
		つながりをどう自然に作ってあげるかと次の予定を一緒にもってあげるかが重要。大変勉強になった。
		今朝、家族とちょっとした口論があって出てきたので、最後の目を見て・・・のお話にドキッとした。日常の中で人とつながっていること、当たり前前に思っていて、鈍感になっている自身に気付いた。
		写真の良い笑顔を見ると、パーソナルさんにたどり着いた子、人は幸せだと思う。ここにたどり着けない子、人はもっといるのではと思うと社会の片隅でポツリという人は一と思ってしまう。どう気付き、こんなところがあるんだと周知することが何より必要かと。まさにどこにつなげるか、という情報が一番だと思った。パーソナルさんの活動、本当に根気のいる活動だと感じる。
	目を見て話すことについて	目を見て話すことの大切さ。
		遺族の方の言葉「いつも通りだったのですが・・・」には色々な感情が含まれている重い言葉だなと思った。そういう後悔をしないためにも「いつもとはちょっと違った」という違和感に気付ける”目を見る声掛け習慣”が本当に大切だなと思った。
	相談先について	40歳の時、主人（当時は48歳）が出張中に突然死して、男の子二人育てのこれまで無我夢中の日々だった。今、一人暮らしだが、時にこれからの事が不安になることがあり、今日出席して色々な相談するところがあることを知り、安心した。
		相談できるところが多いことを知り驚いた。（5か所くらいと思っていた）
	その他	職場でも家庭の中でも感謝の気持ちは常に忘れず、言葉で伝えることが大事だと思った。
		話を聞いてから（相談者の）次の行動に移すまでの気配り、話の持っていく方など大変勉強になった。
		ゲートキーパーという言葉を知った。不登校が多いことは聞いたことがあったが、学校だけでなく家庭の理由など様々な理由があることがびっくりした。

分類	内容
今後の目標や 対応等について	関係性作りを大切につながっていこうと思う。
	2人暮らしの老人の方にも目を見てしっかりと表情が分かるように見守りしていきたい。家族に対しては、いつも目を見てその中で健康、心の事を見るようにしてきた。それは小さい時からの習慣だった。
	顔や目を見てSOSのキャッチしていこうと思った。
	SOSに気付ける自分 目を見る声掛け習慣（表情をみる） せめて身近な人の変化に気付けるようになりたい。
	自分の周りの人だけでも救えるように、SOSに気付ける感度を磨いていきたい
	家族に対して、しっかり目を見て手を休めて感謝して、ゆとりを持って接していきたい。ありがとうございますと感謝。おせっかいでいきたい。
	夫との関係に悩んでる最中で・・・まずは帰宅後に「いつもありがとう」を伝えようと思った。とても貴重な時間になった。
	色々なことに関して「ありがとう」という言葉は大切なことだと思う。素直に言えるようにしていきたい。
	身近に不登校で在宅に引きこもる家族がいるので、自身の立ち位置・物言いに注意して寄り添えるようになりたい。
	もっと多くの体験談を聴いて、いくつもの引き出しを用意しておけるよう心掛けていきたい。
	今後職場で活かしたり、少しでも人のために役立つことができればいいなと感じた。
	初めて「ゲートキーパー」という言葉を知り興味を持ち今回参加した。日常生活の中では関係ある内容ではないが、貴重な話だったので、今後この事を活かせるように意識していきたい。
自身の体験 について	自殺未遂された方が「死ねないのがつらい」と話された時、聴く事しかできなかった。悩みを聞くタイミングではないだろうと考えた。本日の講演をきいて、一人住まいの方への対応が分かった気がした。話を聞き寄り添い、明日へ目標設定の手助けできたら良いと思う。
	子供同士のいじめに対して、先生が学校で授業以外の時間に見てほしい。先生に頼んでもっといじめられたと母親に聞いたことがある。現場を見て注意してほしい。
	子育て中の私は忙しい親だった。自営業で朝から子供より主人の顔色ばかり見てたような気がする。お陰様で息子、娘は大学を卒業して就職して結婚した。今はありがたいと日々感謝している。「忙しくて相談できない、すきのない親」まさしく、自分だと痛感した。今は孫がいる。息子、娘も親になった。今日のこの話を是非しようと思った。とても心にしみた。
	今、40歳になる子が小学校高学年から中学生まで不登校になった。中学生の時、スクールカウンセラーの鹿屋体育大学の先生がおられて、空き教室で午前中そこで母の私と他に3人の生徒さんで時間を過ごす日があった。当時の義務教育は当たり前に学校に行く時代で、行かないのは憲法違反などと言われたものだった。今はいろんな子どもがいることが認められるのは良かったと思う。
	自分も過去には死にたいと思い、何回も死のうとしたが、何か守られてるみたいで死ねなかった。その中、親戚のお兄さんが自殺して山の中で発見された。大分までご両親が探しに行っていた。それまで笑顔の素敵なおばさんが生気が抜けたようになっていた。その時に自分の両親にこんな顔を見せたくないと思い、そこからは死にたい理由でなく、生きる理由を探すようにしている。考え方を変えてから、それまで両親が自分に対して、しっかりと繋がりを持ち続けてきたことに気付けた。なので自分自身も自分みたいな人を少しでも支えられるような活動・資格・仕事をしたい

分類	内容
講座の開催 時間・内容等 について	貴重な勉強の機会を作っていただき、ありがとうございました。
	事業紹介の方が長かったような気がする
	大変良かった。できれば時間をもう少し長くともってほしい（3件）
	とても勉強になった。今後、機会があれば話を聞いてみたい。（3件）
	中高年の年齢を対象にしたお話を聞きたい。
	1時間半の講話の中でたくさんの方が学べ、話もすごく聞きやすかった。
その他	大倉先生を知りたくて来た。「ふらっと」もよく見聞きしてるので、良く知りたいとも思った。感想は「へー鹿屋にもこういうのが出来たんだ」。アウトリーチ超大変だろう。どこからどうお金が出て運営しているのだろう、と違う角度で質問が生まれてくる。